

JOUEN

春号6
Vol.6
開苑5周年

2018 4月 April 伝燈院赤坂浄苑

新たな出会い、新たな体験、新たな発見
伝燈院と皆様をつなぐ「JOUEN」です



つのだ けんりゅう

角田 賢隆 副住職
ご挨拶

購入した理由や趣味の広がり
ご契約者様インタビュー

おかげさまで開苑 5 周年

開苑 5 周年 *Special* インタビュー

赤坂浄苑を支える人々 ご契約者様の豊かな暮らしをお手伝い

赤坂浄苑イベント報告

イベントを通じて、新たな楽しみを発見しました!

赤坂浄苑がおすすめする赤坂散策スポット

健康特集 春の眠気を緩和するツボ

趣味の検定に楽しくチャレンジ

偉人の遺言

伝燈院 赤坂浄苑 行事紹介



平成三十年四月二日発行

伝燈院赤坂浄苑

はせがわ × かリモア家具
つなぎます。心と、いのちと、人。

共同開発のリビングルーム仏壇 SOLID BOARD JUST

いつもそばに。リビングで過ごす、大切な「あの人」との時間。

リビングは生活の中心となる空間。食事をして、家族や友人と語らう、大切な部屋。

そんな場所だからこそ、これからもずっと故人といっしょに過ごしたい。

SOLID BOARD JUST は、そんなお客様の声から生まれた祈りのインテリアです。



春号
Vol. 6

新たな出会い、新たな体験、新たな発見
伝燈院と皆様をつなぐ「JOUEN」です

CONTENTS

01P 伝燈院 **赤坂浄苑**
副住職 角田 賢隆 ご挨拶

03P **【特集】 購入した理由や趣味の広がり
ご契約者様インタビュー**
思い出深い赤坂の地に寿陵を。
先のことを今、決めて安心の日々。

06P **おかげさまで開苑 5 周年**

07P **開苑 5 周年 *Special* インタビュー**

10P **赤坂浄苑を支える人々** ご契約者様の豊かな暮らしをお手伝い

11P **赤坂浄苑イベント報告**
イベントを通じて、新たな楽しみを発見しました!

13P **赤坂浄苑がおすすめする赤坂散策スポット**

15P **健康特集** 春の眠気を緩和するツボ

16P **趣味の検定に楽しくチャレンジ**

17P **偉人の遺言**

18P **伝燈院 赤坂浄苑 行事紹介**

April 2018



内海 眞智子様 利史様

伝燈院 赤坂浄苑 5周年に際して 副住職 角田 賢隆



年度初めの何かと気ぜわしい時期
ではございますが、赤坂浄苑関係者
の皆さまにおかれましてはいかががお
過ごしでしょうか。

皆さまが新しく「お墓」を探される
にあたり「檀家になる必要がない」
ということが条件に含まれるのを特
に多くお聞きいたします。宣伝広告でも「檀家になる必要はございません」
と表記されているところが多数でございます。そこで今回は誤解を与えてし
まう部分もあるかと思いますが「檀家」ということについて少し書かせてい
たきます。

私は常々現代において「檀家制度」は衰退していると申し上げておりますが、
正確に言うところには少し誤りでございます。

元々江戸時代には「寺請制度」という制度が存在し寺院には役所のような性
質があり、住民はいずれかの寺院に属し住民票的な書類の交付を受けること
が時の政府により法的に義務付けられておりました。(キリスト教の排除と
いう目的があった) このことにより寺院には決まった檀家さまからの安定的
な収入があり、永続性が保たれていたと考えられます。

しかしながら現代においては寺院が戸籍管理をすることが無くなり、その上
での少子化・高齢化・過疎化に加え、「家」を代々継いでいくという考え方
にとられなくなつたということが寺院経営において大変大きな問題となつ
ております。

例えば昔は100件の檀家さんが持ち合い支えていたお寺があったとしま
す。過疎化の影響でその数が半数の50件に減つてしまつたとします。そうなつ
てしまつても伽藍(がらん)の維持や運営の費用が大きく変わるわけではな

く、年間の護持会費では賄えない状況となるわけです。護持会費で賄えない
部分は寄付という形で檀家さまにお願いするようになりますが、単純計算で
以前より2倍の額を負担する形になるのでお金ばかり取られているという感
覚になるわけです。

これは何もお寺だけが悪いということではなく寺院経営のあり方が時代にそ
ぐわなくなつてきていることが問題なのだと思います。

仮に寄付金が集まらなければその寺院は衰退していき次の担い手が無くなる
でしょうし、実際には寺院を途絶えさせないよう壇務の他に仕事をされてお
り、その収入を寺院運営に充てておられる住職さまが多数おられることも事
実です。

ですが、現実問題としてこれからの時代はたくさんの方に縁をいただき、
少しずつ持ち合つていただき、護持会費のみで永続性を保つていく「赤坂浄
苑」のような運営方法が主流となり、経営の厳しい寺院が廃寺になつてしま
う流れはなかなか止められるものではないと思っております。

「檀家」という言葉の語源はサンスクリット語で「お布施」という意味があ
る「ダーナ」という言葉を音写したものであり、檀家の本来の意味は「寺院
にお布施をする家。またはその人」と辞書には出ております。

赤坂浄苑では皆様から「護持会費」として毎年ご寄進をいただいております
が、これは紛れもなくお寺に対する「お布施」でございますので、言葉の持
つ一般的なイメージは悪くとも、本来の意味合いでいうと皆さまはお寺を支
えていただいている大切な「檀家」さまとなるわけです。

今後も赤坂浄苑では年間の「護持会費」のみでの運営を基本とし、強制的に
寄付を募るようなことはございません。その安心があつて初めて皆様に親し
んでいただくための様々な行事の開催・布教活動であるという理念を大切に
運営してまいります。

ご契約いただいた皆さまは分け隔てなく「檀家」さまでございますので、ご
意見・ご要望などございましたら遠慮なくお申し出くださいますよう今後と
もよろしくお願いいたします。

合掌



東京都江東区在住 平成26年ご成約者

内海利史様

眞智子様

あったのです。

信頼で選んだ赤坂浄苑

赤坂浄苑を知ったきっかけを教えてください。

ご主人：何よりも官舎が赤坂にありまして、赤坂には土地勘がありますのでまずはそれが大きかったですね。もちろん、他のところも夫婦で見学に行きましたが、最終的にここに決めました。

奥様：主人はずっと仕事一筋でしたので家のことは私が見て、それから主人に相談するようにしておりました。お墓についても同じですね。主人に実際にここに来て見てもいいましたが即、気に入ったようです。

赤坂浄苑に決めた理由は何か。

奥様：見学した他のお墓は納骨できる数が決まっていまし



フラワーアレンジメント教室 生徒さん募集中!

初めての方でも、丁寧に指導いたします!

四季の花々であなたの生活空間に彩りを添えましょう!

お問い合わせ先 0120-3588-053

思い出深い赤坂の地に寿陵を。

先のことを今、決めて安心の日々。

赤 坂浄苑ご契約者様の素顔や暮らし方を気軽に語っていただくこのコーナー。第六回は内海利史様・眞智子様ご夫婦にご登場いただきました。

警視庁刑事のご主人と支えてきた奥様

ご主人様は警察官をされていたとお聞きしています。が、具体的にはどのような仕事をされていたのですか。

ご主人：約40年間、警視庁本部等で刑事をやっております。ひき逃げ事件の捜査本部での捜査主任が最後の仕事になったのですが、なかなか犯人が見つからず苦労しました。

——ときには犯人を逮捕する場面などで危険な状況にも直面したこともあったと思えます。奥様は心配だったでしょうね。

奥様：詳しく話を聞くと怖く



なるのであまり仕事のことについては話題にしないようにしていました。ただ何時に帰ってくるかわからない業務です。「今日は早く帰る」と言っても深夜に帰宅ということもありました。特に携帯電話のない時代は心配でした。

ご主人：携帯電話を持ってからもまたそれなりに大変でした。警視庁本部ではそれぞれ専門分野に所属し、私は長い間、ひき逃げ事件を担当しておりました。ひき逃げというのは夜間に起こることが多く、深夜に携帯電話が鳴って現場に直行ということもよく

たが、赤坂浄苑は何体でも引き受けてもらえるのでまずはそれが良かったですね。ここなら自分たちだけではなく、いつか子どもも入ることができます。嫁いだ娘たちはまだまだ先のことなので実感はないのですが・・・(笑)。あとは、はせがわさんが販売しているところも安心しました。永くお世話になる分、やはり信頼できる会社のほうがいいですから。

赤坂は長く暮らした思い出の場所

寿陵でご購入されましたが生前にお墓を考えた理由は何でしょうか。

ご主人：最近、娘の嫁ぎ先の親が亡くなるなど葬儀やお墓について考えさせられたことですね。そういった中で自分たちが元気なうちにお墓のことは決めておこうとなり、だったら駅から近いほうがいいなど内容が具体化していったのです。実は妻の両親のお

墓が埼玉にあるのですが、駅から遠く、お参りするの不便を感じていました。

奥様：そんな矢先にたまたまチラシを見たのですが、ちょうどお墓について考えていたのでタイミングが良かったと思っています。

赤坂浄苑は赤坂見附の駅からも近く、その上で赤坂は子どもたちが育った思い出の場所になります。官舎が赤坂にあった関係で小学校、中学校もここから通いました。きつ



伝燈院 赤坂浄苑

おかげさまで 開苑5周年



お陰様で赤坂浄苑は開苑から5周年を迎えることができました。その間、多くの方々との素晴らしい出会いや、実り多き時を重ねることができましたことに深く感謝申し上げます。ここではその歩みを振り返りながら、まだ記憶に新しい当時の社会での出来事などもご紹介します。

社会背景

赤坂浄苑の出来事



2013
平成 25年

流行語：「今でしょ！」
「お・も・て・な・し」「じぇいじぇい」「倍返し」
話題になったニュース：富士山が世界文化遺産に登録。
NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」が大ヒット。

赤坂浄苑 落慶法要

赤坂浄苑が竣工し、厳かに落慶法要が執り行われました。そしてこの墓苑が多くの方々にとって心を癒やす最良のご供養の場となるよう、スタッフ一同、深く祈念いたしました。



2014
平成 26年

流行語：「ダメよ〜ダメダメ」
話題になったニュース：
ソチ冬季オリンピック開催、金1個、銀4個、銅3個獲得。
宇宙飛行士の若田光一が日本人初の国際宇宙ステーションの船長に就任。

第1回京都旅行開催

初めて開催された京都旅行は「古都の名利をめぐる旅」をテーマに実施しました。清水寺や西本願寺や東本願寺、銀閣寺、南禅寺など世界的にその名を知られた名刹を2日間かけて見学。古都の空気を満喫しました。



2015
平成 27年

流行語：「爆買い」「トリプルスリー」
話題になったニュース：
第8回ラグビーワールドカップで日本が南アフリカから歴史的勝利。
マイナンバー制度運用開始

ご契約者の集い

赤坂浄苑の取り組みについて今一度ご説明し、質疑応答で参加者の方からのご質問にお答えさせていただきました。ご契約時の説明では伝えきれなかったことをご案内し、和やかな雰囲気の中で皆様と交流することができました。



2016
平成 28年

流行語：「神ってる」
話題になったニュース：18歳選挙権施行。
リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック開催。
赤プリの名で親しまれてきたグランドプリンスホテル赤坂跡地に「東京ガーデンテラス紀尾井町」が開業。

第1回 購入者様ご供養落語会開催

開苑3周年を記念して購入者様限定のご供養落語会を開催しました。春風亭昇々さんと春風亭柏枝さんの二人の落語家にそれぞれ古典落語とご供養落語を演じていただき、会場である本堂は賑やかな笑い声に包まれました。



2017
平成 29年

流行語：「インスタ映え」「付度」
話題になったニュース：
上野動物園の赤ちゃんパンダの名前が「シャンシャン」(香香)に決定。
桐生祥秀が100mで日本人初の9秒台を記録。

季刊誌 JOUEN 発行開始 第3回 京都旅行開催

毎回、大好評の旅行企画。第3回は「世界遺産と古都めぐり」と題して世界遺産に登録された名刹や名所を見学しました。また契約者様のご厚意により夜の宴席では京都より「舞妓」さん「芸妓」さんを招き「お座敷遊び」を堪能いたしました。



5周年から
さらに未来へ。
2018
平成 30年

開苑5周年を迎えて 合祀墓落慶法要

赤坂浄苑はこれからも皆様とともに心温まる時間を綴ってまいります。

JOUEN

購入した理由や趣味の広がり
ご契約者様インタビュー



と将来は子どもたちも自分の幼かった頃を懐かしみながらお墓参りに来てくれるのではないかと思っています。また屋外の墓地のようにお花やお線香を自分たちで用意しないでもいいのも有難いですね。
ご主人：管理費は50年分、先に納めました。納骨してから管理費の対象になるのも決め手でした。とても良心的だと思っっています。また宗派が不問だったことも良かったですね。
奥様：場所やお金などお墓のことで子どもたちに迷惑をかけたくないという気持ちが寿陵の購入につながったのだと思います。

イベントやセミナーも積極的に参加
赤坂浄苑のイベントなどもよく利用されているとお聞きしました。
奥様：フラワーアレンジメント教室にも通わせていただき、そこでお友だちもたくさん



できました。

ご主人：落語会や収納術のセミナーにもよく参加しましたね。イベントやセミナーがないときも隣の「うまや」さんで夫婦でランチをしたあとなどにこちらでコーヒーを飲みによく立ち寄ります。
奥様：ロビーが明るくて素敵です。フラワーアレンジメントの先生が生けられた花を見るのも楽しみにしています。それにスタッフの皆さんも気さくで気持ちいいですね。

——ご夫婦の仲の良さがお話から伝わってきますが、夫婦円満の秘訣は何ですか。
奥様：私は4人兄弟の一番上、主人は4人兄弟の末っ子で、



全然性格がちがいますが、私が合わせてきました(笑)。それが良かったのかも知れませんね。
ご主人：定年後も会社の顧問や地方裁判所で強制執行の立ち合いの人などをやっており、ずっと家にいるわけではありませんが、以前よりは夫婦で話をすることも多くなりましたね。
奥様：その分、これからは人生をゆっくり楽しんでいきたいですね。
——本日はありがとうございます。

開苑5周年 Special インタビュー

忘れられない師匠との思い出

——ご住職が仏門の世界に入った理由などを聞かせていただけますでしょうか。

私自身が在家出身であったのですが、文学が好きだった関係から坐禅や仏教に興味を持つようになり、一度学んでみようと考えて駒澤大学の仏教学部に進学いたしました。そこで大学の教授とお寺の住職を兼任されている光地英学先生に出会い、弟子にさせていただいたのがこの世界に入ったきっかけでございます。

光地英学先生は大変に厳しい方でした。普通に話をするときも緊張していました。特に先生は聞き返されることが嫌いで何か用事を頼まれたときに、もう一度お聞きしようものなら、声音が変わるのです。ですから師匠の言葉は一文一句たりとも聞き漏らさないようにしていたのです。

師匠のお寺に在籍しました。師匠が私に何か用事があつて呼ばれた場合は、向かう途中で今日は何の用事があのかを考えながら、向かったものです。何せお寺は広いですから、師匠のもとに着くまで考える時間は多少ありました。そのときに一を聞いて十を知るといった物事を聞く姿勢も身につけていったように思います。今でも覚えているのはよく小言を言われたあとに「まあいいわ、帰れ」の言葉でした。さんざん、叱られたあとのこの言葉は、匙を投げられたように深く落ち込んだものです。しかし、そのうちにその言葉を聞いて、踵を返したとき、叱られたことをパッと忘れられる習慣がついていきました(笑)。今、考えればこれは禅の修行にも通じるものがあります。禅では反省は大事です、それをいつまでも

引きずってはいけないという考え方があからずです。

恥をかくことで学んだ修行時代

師匠は大学の先生で教えるのが仕事ですが、お寺では何も教えてくれませんでした。たとえば「お施餓鬼(せがき)を手伝ってきなさい」と言われて近隣のご寺院さんに出かけます。でもそこで私は何をしたらいいか、何も教えてはくれないのです。私と行った、年齢も同じくらいの僧侶がそつなくこなしているのに、私は何もできません。だから恥ずかしい思いをするわけです。しかし実はそれが師匠の弟子の育て



考え方に染まってもらえればと思っております。

戒名授与式を行う意味

——誠実という意味では生前に戒名を希望される方に一回一回戒名授与式を行っているところにもそれを感じます。戒名授与式を行う理由は何でしょうか。

曹洞宗ではもともと授戒会というものを大切にし、力を入れていきます。ただし本山で行うような授戒は何日も掛かり、それを一つの寺で行うことは容易ではありません。そのためにも簡略化したものになります。戒名の意味をある程度理解した上で行うこの授与式は、もともと曹洞宗の在り方に則しているものではないでしょうか。

僧侶もお寺に入ってからすぐに戒名をいただけるわけではなく、戒名をいただきます。私の場合は、戒名をいただいたときに本籍の名前も戒名に変えました。先にお話した師匠の厳命だったのです。しっかりと僧侶として仕

皆様と温かくふれあい、語りながら、愛語にあふれた赤坂浄苑を目指していきたい。



方なのです。そして実際に私は恥をかくことで僧侶としての様々な仕事を覚えていきました。

僧侶としての自覚を大事にする日々

——法要やご供養をされる中で心掛けているのはどのようなことでしょうか。

やはり僧侶としての自覚を忘れないということですね。服装もそうです。若い僧侶の中には移動のときはスーツ姿で先方に着いてから袈裟に着替える人もいます。しかしそれで本当に僧侶としての精神が保たれるでしょうか。お葬式などもそうですが、会場に着いたときには供養が始まっています。経を読むときだけが

供養ではありません。ですから自身も含め、若い僧侶にはまず服装から気をつけるように注意をすることがあります。もちろん外見だけではなく、禅宗ですの毎朝の坐禅は欠かさないように心掛けております。そういった積み重ねがあるからこそ、供養の場で僧侶として正しい振る舞いができるものと信じています。

——ご住職の立場から縁の大切さを教えていただけますでしょうか。

誠実に供養に務めることが何よりも縁を大切にすることではないでしょうか。すべての人に通じるわけではありませんが、誠実に接することでより多くの方との縁を大事にできると思っています。また何よりも相手の話をよく聞いて差し上げるようにしています。

法事や葬儀を終えて帰るときに「今日はいいいお話を聞かせていただきました」と言われることがあります。実は私はほとんど



話をしていないのです。しかし相手の話には誠実に耳を傾けることで深い満足を感じるのでしょうか。

もちろん僧侶として曹洞宗の考え方をお伝えすべきときもあります。しかし、それも相手の話を伺った上で「曹洞宗ではこういった教えもあります」といったようにお話をするようにしています。何につけても押しつけるのはよくありません。大変教義のことを勉強されているお坊さんにもいます。しかし法事の際に「別の人に来てほしい」と言われて私が赴いたこともありましたが、どれほど良いことでも押しつけでは伝わりません。ですから私は誠実に相手の方と接するようにしているのです。その中で自然と曹洞宗の

赤坂浄苑の温かい雰囲気の良いチームワークで支えています。

赤坂浄苑を支えるスタッフを紹介していくコーナー。今回は受付や来苑された方々の対応などにかかわるメンバーが登場。その活躍と意外な素顔にスポットを当ててみました。

葬儀や法要でのご供養の他、赤坂浄苑の様々な行事を通して皆様とふれあいを大切にしています。



住職 / **角田徳明** (つのだとくみょう) 左
◎読書・錦鯉の飼育と鑑賞
(麻布浄苑の小さな池で育てています)

館長 兼 副住職 / **角田賢隆** (つのだけんりゅう) 下段左
◎居酒屋巡り (特に立ち飲みの居酒屋)

スタッフ / **中村みつる** (なかむらみつる) 下段右
◎京都旅行・寺社仏閣巡り (御朱印集め)

スタッフ / **松永いづみ** (まつながいづみ) 上段左
◎スポーツ観戦
(テニス・野球など。好きな球団は巨人)

スタッフ / **木村洋子** (きむらようこ) 上段中左
◎音楽鑑賞
(特にフュージョンミュージックをよく聴きます)

スタッフ / **新田昌史** (にしたまさし) 上段中右
◎ウォーキング
(知らない街を散策すること)

スタッフ / **服部敦子** (はっとりあつこ) 上段右
◎車の運転・映画鑑賞
(主に洋画をジャンルにこだわらず観ます)

赤坂浄苑のアットホームな雰囲気は良きチームワークから生まれます。

赤坂浄苑を訪れたときに迎えてくれるのは様々なスタッフたち。温かい笑顔が気持ちをそっと和ませてくれます。そんなスタッフとご契約者さまとの距離が近いのも赤坂浄苑ならではの魅力の一つです。赤坂浄苑にお越しになる人の中には最愛の家族を亡くされてからまだ時間が経っておらず、悲しみが癒えていない方もいらっしゃいます。そんな人たちも心穏やかに故人とのふれあいの時間を持つよう、まごころで支えていくこともスタッフの大切な仕事。静かに亡き人の思い出に浸りたい人にはあえて言葉をおかけしないなど、そのとき、その人に合った接し方を心掛けています。そして室内の温度やお花などにも気を配りながら、最も心地よくお参りができる環境づくりを良いチームワークのもとで行っています。清々しく活躍するスタッフを優しい眼差しで見守るのは角田徳明住職と角田賢隆副住職。法要などで多忙な中でも、お参りに訪れた方々とも気さくに言葉を交わすなどアットホームな赤坂浄苑になくてはならない存在となっています。



事を全うしていくようにとの意味がこめられていたと思います。ありがたいことはありますがたいのですが、そこまでやることで正直、仏門の世界からは逃げられないと覚悟をしました(笑)。

在家と得度したものの違いはありますが戒名を持つというのとはそれほどの重みがあると思います。戒名は血脈というお釈迦様とのつながりという意識を持つことなのです。

これからのご供養のかたちについて


自動搬送式のお話がありましたが時期早尚と考え、通常の納骨スタイルにいたしました。そして平成25年にそろそろ自動搬送式も社会に認知される時代になったのではないかと、赤坂浄苑の開創を決断したのです。あれから5年、いよいよ仏様の供養のありべき姿として自動搬送式の屋内墓苑が主流になってきたように感じています。以前は納骨堂といえば独身の方やお子様がいない方など跡を継ぐ家族がいなかった場合が多かったようです。しかし自動搬送式の墓苑は、お子様のいる・いないにかかわらず、お参りしやすいお墓としてお求めになられる方が増えています。

これからのご供養についてのお考えを聞かせてください。

赤坂浄苑の伝燈院は大変古いお寺で、檀家さんの中には何代にもわたってご供養させていただいている家もごさいます。しかし半面、家自体が途絶えてしまうケースも少なくはありません。しかしこれは私の寺に限ったことではありません。現代はいい意味でも悪い意味でも個人主義の時代。その中でご供養のかたちも家が代々まで守っていくのではなく、供養をお寺に任せようという方向になっていくように思います。その場合、大事になってくるのは信用だと思っています。

最後にメッセージとしてご住職が日頃から大事にされている言葉を教えてください。

住職紹介



氏名	角田徳明(ツノダトクミョウ)
出生	昭和30年8月4日出生
学歴	駒沢大学仏教学部禅学科卒業 駒沢大学大学院人文科学研究科仏教学専攻修士課程終了
立身	昭和56年5月8日 夏後 埼玉県板戸市塚越 西光寺 住職 光地英学再会に於いて立身
法衣	昭和57年2月7日 埼玉県板戸市塚越 西光寺 住職 光地英学の室に入り法衣許状を受く
転世	昭和57年2月28日 大本山 永平寺へ拜登
瑞世	昭和60年11月25日 大本山 総持寺へ拜登
補任教師	昭和61年1月28日 大本山 総持寺へ拜登 平成3年3月26日 一等教師に補任される
補任布教師	平成7年11月22日 正教師に補任される
住職	平成3年4月12日 令命一等布教師に補任される
参与	平成4年5月1日 凜命二等布教師に補任される
	昭和63年2月8日 伝燈院住職拜命
	平成10年3月10日 大本山 総持寺「参与」拜命

「本日ありがとうございます」

イベントを通じて、新たな 楽しみを発見しました!

赤坂浄苑では一年を通して様々なイベントを開催。

屋内墓苑として快適なお参りをご提供しながら多彩な集いの機会を設け、皆さまとのふれあいを広げています。
今回は最近行われた催しの様子をダイジェストでご紹介します。

イベント 01 新年祈禱会

1月1日(祝)~3日(水)

無病息災をご祈念する
新年祈禱会

本年も本堂にて参拝される皆様の無病息災の一年をご祈念させていただく新年祈禱会を行いました。



伝燈院僧侶より祈願したお札を皆様にお配りいたしました。



赤坂浄苑 イベントカレンダー

4月	5周年感謝祭 ご供養落語会 4月15日(日)	歴史深き赤坂の地で本物の落語に耳を傾けながら楽しいひとときを	
5月	散策ツアー 5月26日(土)	爽やかな新緑の季節の中で赤坂の町を散策いたします。 お友達をお誘い合わせの上、ご参加ください。 詳しくは下記までお問い合わせください。	参加無料 落語家さんが散策コースに登場!
6月	休日開催受戒会 6月3日(日) お盆勉強会 6月10日(日)	今回は休日の開催です。平日参加できない方はぜひご参加ください。 お盆飾りについて学ぶことができます。	
7月	盂蘭盆会 7月7日(土) お盆墓前供養	お盆期間中、個別墓前供養を実施いたします。	

詳細は赤坂浄苑だよりにて告知いたします。

イベント 02 新年ご奉仕 餅つき、甘酒振る舞い

1月2日(火)・3日(水)

餅つきで心も体も温まったお正月餅つきや甘酒、豚汁振る舞いなどを行いたくさんの参拝者の方々と心温まる交流の時間を持たせていただきました。



イベント 03

1日修行 戒名授与式

2月2日(金)



都内に雪が降る中での戒名授与式でした

僧堂修行の体験として「読経」「坐禅」「写経」を僧侶と共にし、最後に「ご戒名」をお授けいただいた貴重な1日でした。
今回は3名の方が参加してくださいました。



あの楽しかった思い出をあの人へ!

今年も魅力的なイベントをたくさん開催します。是非、お友達に赤坂浄苑の魅力をお伝えください。

ご購入者様紹介システム

あなたも あなたの大切な人も 得をする **素敵な特典!**

大切な方と、ご紹介者様に、もれなく「グルメギフトカタログ」と「クオカード 10,000円分」**Wプレゼント!!**
グルメな方もきっと満足の名店の味を取り揃えました。老舗料亭や、一流ホテルのシェフの料理をご賞味いただけます。



今年のイベントは是非お友達とご参加ください!

赤坂浄苑がおすすめする

赤坂散策スポット

散策マップ



赤坂界隈の歴史と文化に ふれるおすすめのスポット

新しい街と古き良き歴史と文化が同居する赤坂界隈。その名所・旧跡を巡る「赤坂歴史散策ツアー」を5月26日(土)に開催予定。初夏の爽やかな風を感じながら巡る赤坂もまた格別。きっと素晴らしい思い出の1日になることでしょう。このツアーの魅力的なところは、気に入ったスポットを家族やお友だちと気軽にに行けること。散策で案内したところはどこでも気軽にに行ける距離にあります。お参りのあとに歩いてみるのもお勧めです。とにかく赤坂は一回や二回の散策ではまったくないほど名所・旧跡が豊富なエリアです。この散策ツアーは今後もコースを検討し、より楽しいものにしていきたいと考えています。そして何度参加いただいても新鮮な感動に出会えるようなイベントになればと願っています。



① ホテルニューオータニ 日本庭園



② 清水谷公園



③ 赤坂プリンス クラシックハウス



④ 東京ガーデンテラス 紀尾井町



⑤ 弁慶橋



⑥ 豊川稲荷



⑦ 弾正坂



⑧ 牛鳴坂



⑨ 山脇学園



⑩ 薬研坂



⑪ 赤坂サカス



⑫ 日枝神社



⑬ 報土寺・三分坂



⑭ 勝安房邸跡



⑮ 勝海舟邸跡



⑯ 水川神社